

臨床検査を終了した検体の使用について

伊那中央病院臨床検査科では、質の高い臨床検査を提供するために各種検査の精度管理、検査・機器新規導入時の基礎的検討、異常値の原因解明などの研究活動も行っています。この研究活動に欠かせないのが、患者さんから採取して臨床検査を終えた検体の再利用です。残余検体の再利用については、日本臨床検査医学会の「臨床検査を終了した残余検体（既存試料）の業務、教育、研究のための使用について」という会告を遵守して行います。残余検体の再利用の趣旨をご理解いただきまして、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【対象】

伊那中央病院臨床検査科で検査が終了した患者さんの残余検体の一部

【方法】

必要な検査が全て終了した検体は、残余検体として一定期間保存し廃棄しています。この残余検体を利用し、当院での各種検査法の基礎的検討や臨床研究を行います。

【倫理的配慮】

- ・臨床検査後の廃棄予定の残余検体を使用するため、患者さんの生命、健康に直接影響を及ぼすことはありません。
- ・個人情報とは匿名化（名前や住所などが特定できないようにすること）します。また学会発表や学術論文発表などをする場合も個人情報は一切使用いたしません。
- ・残余検体の再利用については、患者さんから個別に同意を頂かず、ホームページ、掲示板等でお知らせし、不同意のお申し出がなければ同意を得たものとして実施させて頂きます。

つきましては、以上の趣旨の活動にご協力いただけない場合は、お手数ですが臨床検査科（下記の問い合わせ先）までお申し出ください。ご協力いただけない場合でも患者さんに不利益になるようなことは一切ございませんのでご安心ください。

平成 31 年 4 月
伊那中央病院長 本郷 一博

問い合わせ先

伊那中央病院 診療技術部長兼臨床検査科長 廣瀬 佳子
電話 0265-72-3121（代表）